

第 8 章 数量計算書

次項より補修工事に伴う数量計算書を添付する。

1. 数量総括表

[illegible]

3. 塗装塗替え工

3.1 塗装塗替え工 数量総括表

項 目	規 格	単位	数 量	備 考
1. 塗装塗替え工				
塗膜除去	循環式プラスト工法	m ²	289.0	
塗装塗替え	RC- I 塗装系	m ²	287.5	
廃棄物排出量				
研削材・塗料かす		t	0.4	参考数量
廃プラスチック		t	0.2	参考数量

3. 塗装塗替え工

(1) 表面積

【 主桁 Mg01, Mg03 】						2 組
員数	種別	寸 法(mm)	面	NET	面積(m ²)	摘 要
1	UFLG	302 × 29950	1		9.045	H-912x302x18x34
1	WEB	844 × 29950	2		50.556	
1	LFLG	302 × 28310	2		17.099	
2	LFLG	200 × 350	2		0.280	
2	LFLG	350 × 470	2	78%	0.513	
8	STIFF	90 × 844	2		1.215	
1	STIFF	100 × 844	2		0.169	分配横桁
2	GPL	210 × 420	2	84%	0.296	端部水平GPL
5	GPL	270 × 600	2		1.620	中間水平GPL
小 計					80.793 m ²	
2 × 小 計					161.586 m ²	

【 主桁 Mg02 】						1 組
員数	種別	寸 法(mm)	面	NET	面積(m ²)	摘 要
1	UFLG	302 × 29950	1		9.045	H-912x302x18x34
1	WEB	844 × 29950	2		50.556	
1	LFLG	302 × 28310	2		17.099	
2	LFLG	200 × 350	2		0.280	
2	LFLG	350 × 470	2	78%	0.513	
12	STIFF	90 × 844	2		1.823	
2	STIFF	155 × 844	2		0.523	分配横桁
12	GPL	210 × 600	2		3.024	中間水平GPL
小 計					82.863 m ²	
1 × 小 計					82.863 m ²	

【 分配横桁 】						2 組
員数	種別	寸 法(mm)	面	NET	面積(m ²)	摘 要
1	UFLG	200 × 1660	1		0.332	H-600x200x9x16
1	WEB	568 × 1660	2		1.886	
1	LFLG	200 × 1660	2		0.664	
1	LFLG	200 × 290	2		0.116	斜FLG
1	WEB	135 × 420	2	65%	0.074	斜WEB
小 計					3.072 m ²	
2 × 小 計					6.144 m ²	

【 端横桁 】							4 組
員数	種別	寸 法(mm)	面	NET	面積(m ²)	摘 要	
1	UFLG	90 × 1660	1		0.149	[-300x90x9x13	
1	WEB	300 × 1660	2		0.996		
1	LFLG	90 × 1660	2		0.299		
2	GPL	180 × 300	2	72%	0.156		
小 計					1.600	m ²	
4 × 小 計					6.400	m ²	

【 中間横桁 】							8 組
員数	種別	寸 法(mm)	面	NET	面積(m ²)	摘 要	
1	UFLG	90 × 1660	2		0.299	[-300x90x9x13	
1	WEB	300 × 1660	2		0.996		
1	LFLG	90 × 1660	2		0.299		
小 計					1.594	m ²	
8 × 小 計					12.752	m ²	

【 横構 】							6 組
員数	種別	寸 法(mm)	面	NET	面積(m ²)	摘 要	
4	L	75 × 2790	4		3.348	L-75x75	
小 計					3.348	m ²	
6 × 小 計					20.088	m ²	

【 支承 】							6 組
員数	種別	寸 法(mm)	面	NET	面積(m ²)	摘 要	
1	平面	230 × 410	1		0.094		
1	正面背面	410 × 130	2		0.107		
1	側面	230 × 130	2		0.060		
小 計					0.261	m ²	
6 × 小 計					1.566	m ²	

【 排水管 (塗膜除去) 】							4 組
員数	種別	寸	法 (mm)	面	NET	面積 (m ²)	摘 要
1	SGP100A	359	× 1100	1		0.395	φ 114.3
小 計						0.395	m ²
4 × 小 計						1.580	m ²

【 排水管 (塗装) 】							4 組
員数	種別	寸	法 (mm)	面	NET	面積 (m ²)	摘 要
1	SGP100A	359	× 100	1		0.036	φ 114.3
小 計						0.036	m ²
4 × 小 計						0.144	m ²

□表面積合計 (塗膜除去)

表面積	主桁 Mg01, 03	161.586	m ²
	主桁 Mg02	82.863	m ²
	分配横桁	6.144	m ²
	端横桁	6.400	m ²
	中間横桁	12.752	m ²
	横構	20.088	m ²
	支承	1.566	m ²
	排水管	1.580	m ²
塗膜除去合計		292.979	m ²

□表面積合計 (塗装)

表面積	主桁 Mg01, 03	161.586	m ²
	主桁 Mg02	82.863	m ²
	分配横桁	6.144	m ²
	端横桁	6.400	m ²
	中間横桁	12.752	m ²
	横構	20.088	m ²
	支承	1.566	m ²
	排水管	0.144	m ²
塗装合計		291.543	m ²

(2) 接触面積

【 分配横桁 】							2 組
員数	種別	寸	法 (mm)	面	NET	面積 (m ²)	摘 要
1	STIFF	80	× 500	2		0.080	
1	STIFF	120	× 685	2		0.164	
小 計						0.244 m ²	
2 × 小 計						0.488 m ²	
【 端横桁 】							4 組
員数	種別	寸	法 (mm)	面	NET	面積 (m ²)	摘 要
2	STIFF	80	× 600	2		0.192	
小 計						0.192 m ²	
4 × 小 計						0.768 m ²	
【 中間横桁 】							8 組
員数	種別	寸	法 (mm)	面	NET	面積 (m ²)	摘 要
2	STIFF	80	× 300	2		0.096	
小 計						0.096 m ²	
8 × 小 計						0.768 m ²	
【 横構 】							1 組
員数	種別	寸	法 (mm)	面	NET	面積 (m ²)	摘 要
4	STIFF	75	× 250	2		0.150	
20	STIFF	75	× 300	2		0.900	
24	STIFF	75	× 260	2		0.936	
小 計						1.986 m ²	
1 × 小 計						1.986 m ²	

□ 接触面積合計

表面積	分配横桁	-0.488 m ²
	端横桁	-0.768 m ²
	中間横桁	-0.768 m ²
	横構	-1.986 m ²
合計		-4.010 m ²

■ 塗膜除去面積合計

表面積		292.979 m ²
接触面積		-4.010 m ²
合計		288.969 m ²

■ 塗装面積合計

表面積		291.543 m ²
接触面積		-4.010 m ²
合計		287.533 m ²

(3) 廃棄物排出量(参考数量)

1. PCB廃棄物

研削材 : 0.12 kg/m²

塗料かす : 1.25 kg/m²

$$W = 289.0 \times (0.120 + 1.250) = 395.930 \text{ kg} = 0.4 \text{ t}$$

2. 廃プラスチック

1) 保護具及び環境対策

使用数は参考見積より

	品目	重量	使用数	総重量
安全衛生保護具	全面形面体電動ファン付呼吸保護具	0.82 kg	2	1.64 kg
	フィルターCA-V3/0V	0.12 kg	28	3.36 kg
	エアラインマスク フード型	0.70 kg	4	2.80 kg
	防護服	0.27 kg	84	22.68 kg
	防護手袋	0.08 kg	84	6.72 kg
	防護靴カバー	0.05 kg	84	4.20 kg
集塵機用	活性炭フィルター枠付き	0.03 kg	10	0.30 kg
	活性炭フィルター内プレフィルター	1.25 kg	1	1.25 kg
	HEPAフィルター	1.50 kg	1	1.50 kg
真空掃除機用	環境用FESフィルター	0.05 kg	7	0.35 kg
	環境用FES活性炭フィルター	0.50 kg	1	0.50 kg
	環境用FES HEPAフィルター	0.50 kg	1	0.50 kg
エアシャワー用	プレフィルター	0.03 kg	7	0.21 kg
	HEPAフィルター	2.75 kg	1	2.75 kg
	合計			48.76 kg

2. 養生シート

$$\begin{aligned}
 \text{床・天井面} \quad A &= 30.0 \times 4.7 \times 2 = 282.0 \text{ m}^2 \\
 \text{側面} \quad A &= 30.0 \times 2.0 \times 2 = 120.0 \text{ m}^2 \\
 \text{橋台面} \quad A &= 4.7 \times 2.0 \times 2 = 18.8 \text{ m}^2 \\
 \hline
 \Sigma A &= 420.8 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

シート1ロール当たり面積・重量

$$\begin{aligned}
 \text{面積} \quad & \text{参考カタログより} \quad 1.83 \times 50.0 = 91.5 \text{ m}^2 \\
 \text{重量} \quad & \text{参考カタログより} \quad 25.0 \text{ kg}
 \end{aligned}$$

使用本数

$$420.8 \div 91.5 = 4.6 \text{ 本}$$

廃棄重量

$$25.0 \times 4.6 = 115.0 \text{ kg}$$

3. 廃プラスチック総重量

概算割増

$$\begin{aligned}
 (48.76 + 115.0) \times 1.1 &= 180.1 \text{ kg} \\
 &= 0.2 \text{ t}
 \end{aligned}$$

9. 足場工

9.1 足場工 数量総括表

項 目	規 格	単位	数 量	備 考
1. 足場工				
吊足場	先行床施工式フロア型 システム吊足場	m ²	142.3	

林道新箕輪線尻羽沢橋修繕工事 特記仕様書

第1条 適用範囲

1. 本工事の施工にあたって請負者は、契約書に基づき、設計図書に従って施工するものとする。
また、設計図書のうち仕様書については、本特記仕様書、新潟県林業土木工事標準仕様書を適用するものとする。

第2条 塗装仕様

本工事の塗装仕様は「鋼道路橋防食便覧 (H26. 3(社)日本道路協会)」によるものとする。

第3条 公害対策（鉛等有害物を含有する塗料の剥離等作業）

既設塗膜には、下表のとおり鉛等有害物を含有しているため、受注者は、平成 26 年 5 月 30 日付け厚生労働省「鉛等有害物を含有する塗料の剥離やかき落とし作業における労働者の健康障害防止について」に基づき、関係法令を順守するとともに、ばく露対策や安全衛生保護具を使用する等の適切な措置を講じること。

既設塗膜調査結果

項 目	単位	試験結果
ポリ塩化ビフェニル (PCB)	mg/kg	0.59
総水銀	mg/kg	0.02
鉛	%	15
全クロム	%	0.35
鉛及びその化合物	mg/L	11
六価クロム化合物	mg/L	0.04 未満

第4条 汚染物の処理・処分

本橋梁は塗膜成分調査において、ポリ塩化ビフェニル (PCB) が検出されている。本工事の施工により発生する PCB を含有する廃棄物については、特別管理産業廃棄物として処理する必要があるため、受注者は PCB を含有する特別管理産業廃棄物を適切に保管し、運搬・処理業者に引き渡すこと。

第5条 安全管理

工事期間中は、工事区域内全般の巡視、点検、連絡調整等を行い安全確保に努めること。
また、道路上での作業にあたっては、一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工するものとする。

第6条 下請け関係の適正化

本工事を下請けに付す場合は、「施工体制の適正化及び一括下請けの禁止の徹底等について」を遵守すること。

第7条 公害防止

建設機械の搬入・搬出及び現場作業による土砂の流出等により周辺に影響を及ぼした場合は、直ちに現状に回復すること。また、本工事により周辺に影響が出ないよう配慮すること。

第8条 疑義・その他

1. 連絡体制の確立と速やかな連絡の徹底

当該現場で公衆災害が発生した場合に必要な他機関（保健所、警察署、市町村、消防署等）を含めた連絡体制表の策定と、発生時の現場から監督職員への速やかな連絡を徹底すること。

2. 建設機械等の設置位置の適正化

建設機械等を設置する場合、その設置位置については周囲の状況を十分に勘案のうえ、安全かつ適切な場所とするとともに、万が一油漏れ等の事故が発生した場合に備えた対策を事前に講じておくこと。

3. 建設機械等の点検・整備

安全管理責任者を定め、始業・終業点検等を定められたチェックシートにより点検し、不具合な箇所は整備すること。

4. 建設機械の油漏れ等発生時の臨機の措置

1) 当該現場での処置

油漏れ等が発生しても拡散しないような敷シート等による措置を徹底すること。

2) マット等対策資材の整備

油漏れ等が発生した場合に備えて当該現場におけるマット等対策資材を整備すること。

3) 他機関との連携

保健所、警察署、消防署等との日頃からの連携を密にしておくこと。

5. 請負者は、上記以外の事項及び疑義が生じた場合、その都度監督職員と協議すること。

以上

施 工 条 件 総 括 表

下記項目、事項のうち○印欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。
 なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者（町）と協議し、適切な措置を講ずるものとする。

明 示 項 目	施 工 条 件
Ⅰ 工 程 関 係	1. 関連する別途発注工事あり ・ 工 事 名 : ・ 予 定 期 間 : から まで
	2. 施工時期、時間、方法の制限あり ・ 時 期 : 非出水期内（10/1～6/14）に施工すること ・ 時 間 : から まで ・ 方 法 :
	3. 関係機関協議による工程条件あり ・ 協 議 内 容 : ・ 完了予定時期 : 4. その他
Ⅱ 用 地 関 係	1. 工事用地等の未処理部分あり ・ 処 理 見 込 時 期 : ・ 区 間 : 2. 仮設ヤードの指定あり ・ 場 所 : ・ 期 間 : から まで 3. その他 工事着手前に関係集落の代表者と連絡を取り、現場事務所の設置場所及びその他使用用地の承諾を得てから工事を着手すること。
Ⅲ 公 害 対 策 関 係	1. 公害防止の制限あり（騒音・振動、排出ガス、粉じん、水質等） ・ 施工方法 : ・ 作業時間 :
	2. 家屋等の調査の必要性あり ・ 方 法 : ・ 範 囲 : 3. その他

明示項目	施 工 条 件
IV 安全対策関係	1. 交通安全施設等の指定あり ・ 交通誘導員 : ・ その他施設等 : 2. 近接作業制限あり (鉄道、ガス、水道、電気、電話等) ・ 内 容 : ・ 工 法 制 限 : ・ 作業時間制限 : 3. 発破作業あり ・ 保安設備及び保安要員 : ・ 防 護 工 : ・ 作業時間制限 : 4. 防護施設 (落石、雪崩、土砂崩落等) ・ 内 容 : 5. その他
V 工事用道路関係	1. 一般道路を搬入路としての使用制限あり ・ 搬入経路 : ・ 期 間 : ・ 使用後の処置 : 2. 一般道路の占用 ・ 期 間 : ・ 規制条件 : ・ 時間制限 : 3. 仮設道路設置 工 法 指 定 の 有 無 : ・ 用地関係 : ・ 安全施設 : ・ 工事完了後の「存置」または「撤去」 : ④ その他 一般車、森林整備用車両と工事用車両との安全性を図ること。 区長及び地元関係者と調整を図ること。
VI 仮設関係	1. 仮設備の指定あり 2. 仮設備の条件指定あり 3. 仮設構造物の転用、兼用あり ・ 工 種 : ・ 内 容 :

明示項目 仮関係	施工条件
VI 廃棄物関係	4. イメージアップあり ・ 内容 : 5. その他
VII 残土・産業廃棄物関係	別紙「建設副産物特記仕様書」のとおり 発生残土は別途指定する搬出先へ搬出すること。
VIII 工事支障等物件	1. 占用支障物件あり（電気、電話、水道、ガス等） ・ 内容 : ・ 移設、撤去、防護方法等 : ・ 時期 : 2. 占用物件重複施工あり ・ 内容 : 3. その他
IX 排水工（濁水処理含む）	1. 濁水、湧水処理等の特別な対策あり ・ 内容 :
X 薬液注入関係	1. 薬液注入工法あり 別紙条件明示による
XI その他	1. 現場発生材あり ・ 品名 : ・ 納入場所 : 2. 支給品及び貸与品あり ・ 品名 : ・ 引渡場所 : 3. 品質証明の対象工事である
	4. その他

明示項目	施工条件				
X II 排出ガス対策型建設機械	1. 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日付建設省経機発第249号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。排出ガス対策型建設機械の使用で、きない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着（黒煙浄化装置付）することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。 排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。 <table border="1" data-bbox="438 302 941 1758"> <thead> <tr> <th data-bbox="438 705 470 1321">機 種</th><th data-bbox="438 302 470 705">備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="470 705 941 1321"> 一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット （以下に示す基礎工事用機械のうち、ベアマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの 油圧ハンマ、バイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機 油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機 リバースサークキュレションドリル、アースドリル 地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 ・ロードローラ、タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン </td><td data-bbox="470 302 941 705"> ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。 </td></tr> </tbody> </table>	機 種	備 考	一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット （以下に示す基礎工事用機械のうち、ベアマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの 油圧ハンマ、バイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機 油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機 リバースサークキュレションドリル、アースドリル 地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 ・ロードローラ、タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。
機 種	備 考				
一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット （以下に示す基礎工事用機械のうち、ベアマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの 油圧ハンマ、バイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機 油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機 リバースサークキュレションドリル、アースドリル 地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 ・ロードローラ、タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。				
X III 施工方法等	・施工条件総括表、図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書に特別に定める場合を除き、仮設、施工方法その他の工事的物的物を完成するために必要な手段は、請負者の責任において定める。（建設工事請負基準約款1条第3項による）				
X IV その他	工程表を作成し、地元や森林整備を行うものとのトラブルを避けるため、打合せを行うこと				

令和8年度 林道新箕輪線 尻羽沢橋修繕工事 位置図

阿賀町全図

県道津川新発田線

飯豊山登山口

阿賀野川

国道49号

JR磐越西線

阿賀野川

JH磐越道

阿賀町役場

国道459号

津川I・C

国道49号

●林道新箕輪線（尻羽沢橋）

県道黒倉野中線

県道柴倉津川線

県道室谷津川線



阿賀町 町域一覧表

区分	面積(㎡)	人口	世帯数
阿賀町	1,234,567	12,345	2,345

阿賀町 町域一覧表

区分	面積(㎡)	人口	世帯数
阿賀町	1,234,567	12,345	2,345

阿賀町 町域一覧表

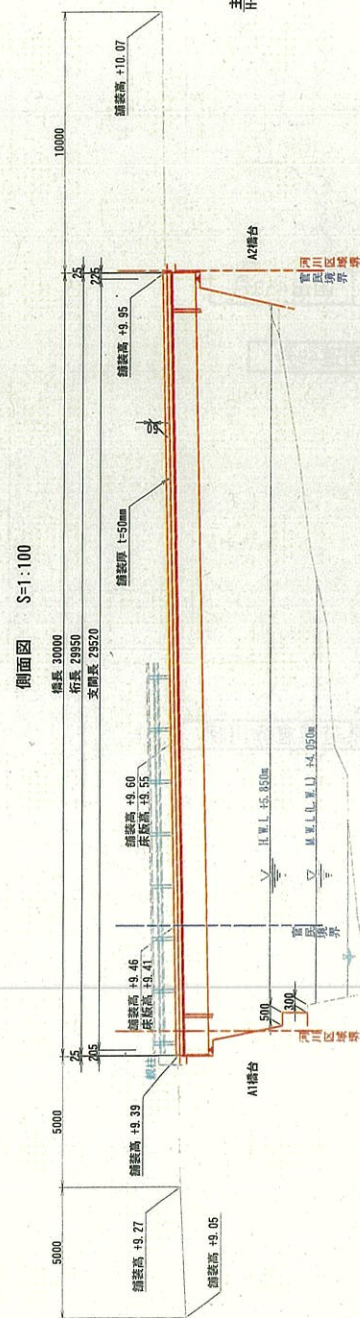
区分	面積(㎡)	人口	世帯数
阿賀町	1,234,567	12,345	2,345

阿賀町 町域一覧表

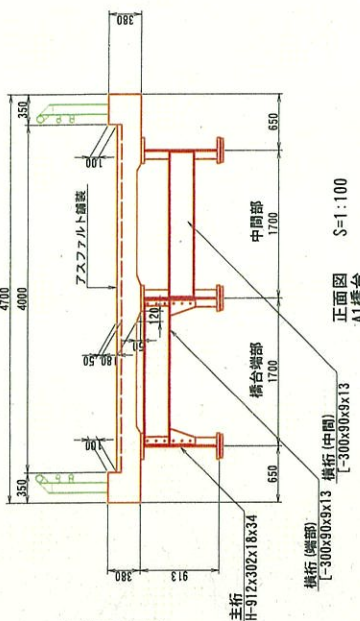
区分	面積(㎡)	人口	世帯数
阿賀町	1,234,567	12,345	2,345

橋梁一般図

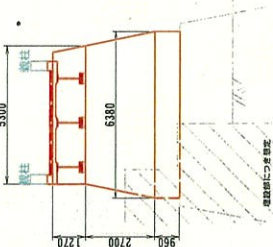
断面图 1:30



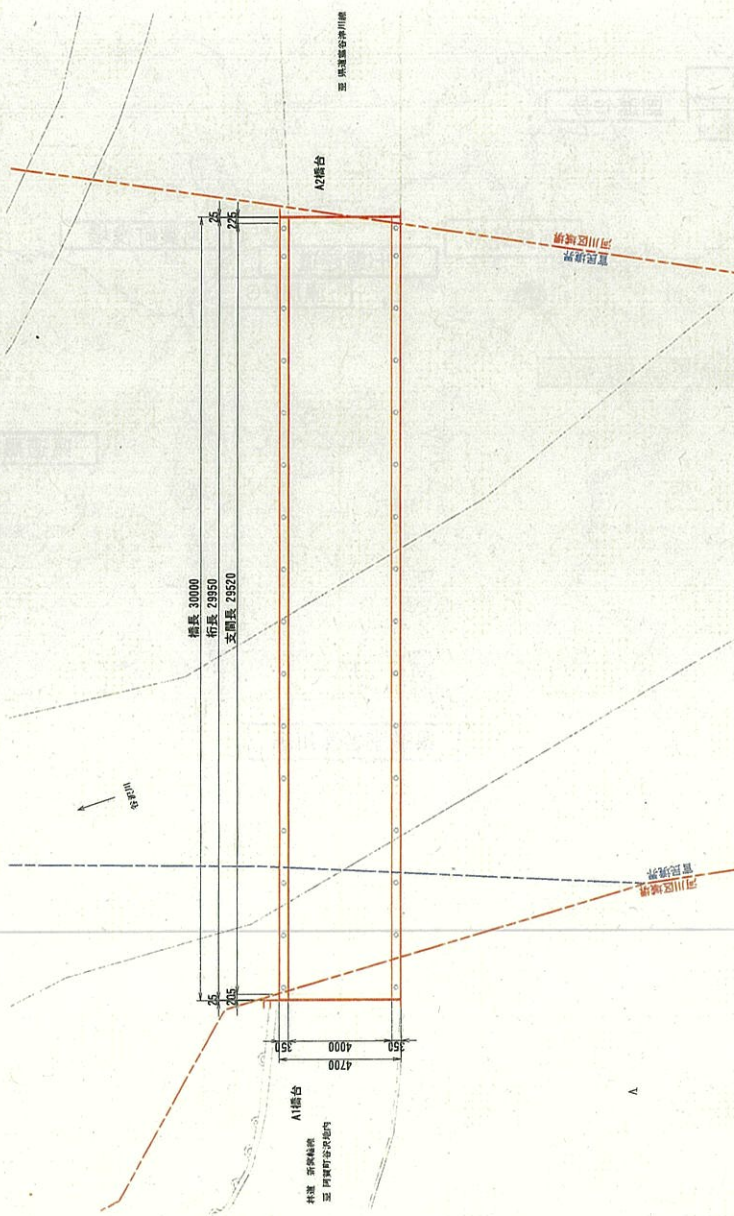
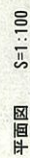
側面図 $S=1:100$



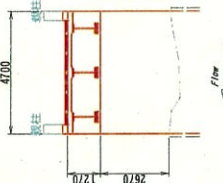
正面图 $S=1:100$



DL=0.00

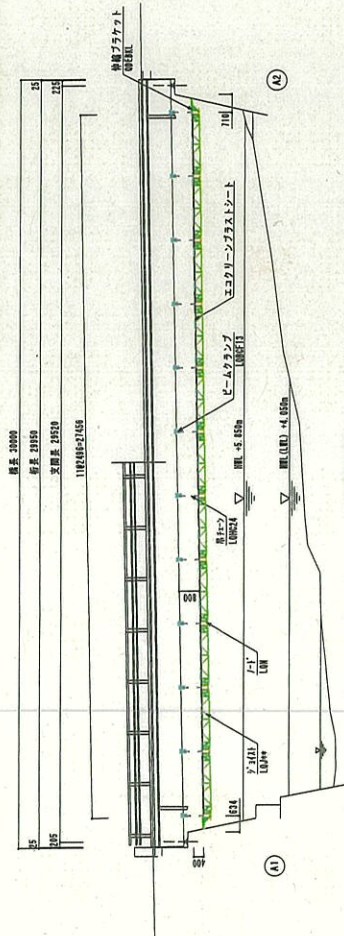


正面图 $S=1:100$



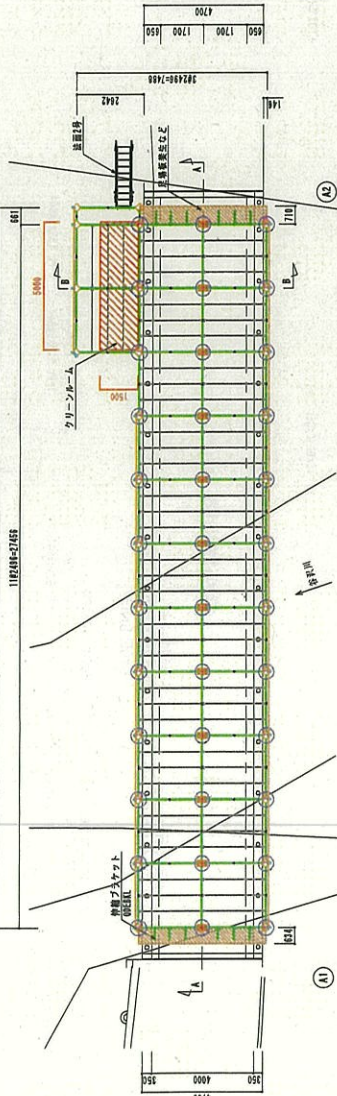
DL=3.00

林道改良調査事業 阿賀川改築1号	新潟県東蒲原郡阿賀町谷沢 地内	新築輸機 武羽刃掛橋建設設計事務所委託	橋梁・校園	縮尺	図示	図面全 15 張の 1	主 注	主 注
設計	有限会社 ナカワ コンサル コンサルティング	令和3年 3月		量			主 注	主 注
阿賀町役場農林課								



A-A断面図
S=1/100

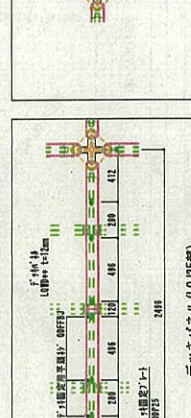
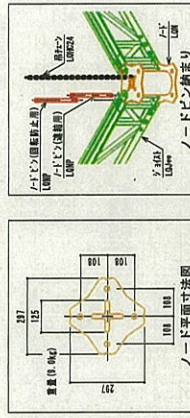
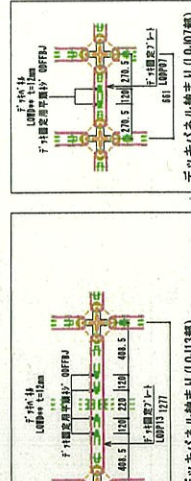
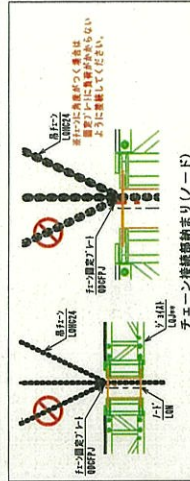
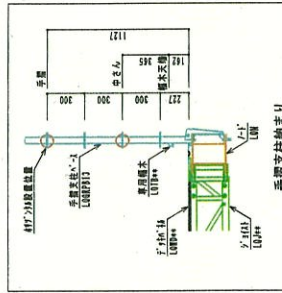
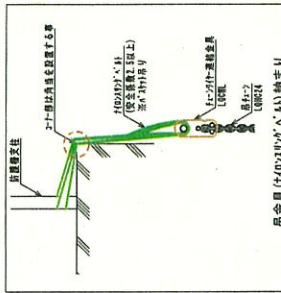
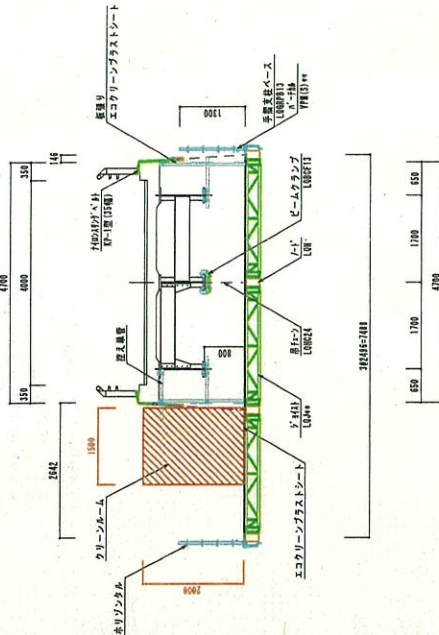
標準 3000	標準 3000
標準 2000	標準 2000
標準 1500	標準 1500
標準 1000	標準 1000
標準 500	標準 500



平面図
S=1/100

- 001.8 例
- : チェーンをノードに取付ける断面を示す
 - △ : 筋交い梁(筋交い)を示す
 - ▽ : 筋交い梁(筋交い)を示す

B-B断面図
S=1/50



ジョイント	ノードの断面図	断面図	断面図	断面図
LA004	418	7.2	7.2	7.2
LA005	824	8.5	8.5	8.5
LA007	681	10.3	10.3	10.3
LA012	1248	14.5	14.5	14.5
LA013	1277	14.8	14.8	14.8
LA025	2084	21.9	21.9	21.9

1. 施工には断面と構造設計書が必要です。 (図例による)
2. 断面は断面図に示す通りです。 (図例による)
3. 断面は断面図に示す通りです。 (図例による)
4. 断面は断面図に示す通りです。 (図例による)

1. 施工には断面と構造設計書が必要です。 (図例による)
2. 断面は断面図に示す通りです。 (図例による)
3. 断面は断面図に示す通りです。 (図例による)
4. 断面は断面図に示す通りです。 (図例による)